

令和3年度

新潟市北区地域福祉推進フォーラム

地域共生 社会

～生きづらさを抱える人への支援～

令和3年 12月4日(土) 13:00～15:00

会場：新潟市北区文化会館ホール
新潟市北区東栄町1-1-5

定員：150名

手話・要約筆記あり

「ひきこもり」が身近な問題となっている今、北区においても「ひきこもり」などの生きづらさを抱えた方の相談が増加しています。不安や困難を抱えたひきこもり状態の方やその家族が、安心して暮らせる地域であるために、また、孤立を見逃さず、ともに笑顔で暮らすことのできる地域づくりのため「ひきこもり」について考え、理解を広げることを目的に開催します。

参加費
無料

(要申し込み)

第1部

13:00～13:30

新潟市北区社会福祉協議会 会長表彰式

第2部

13:30～14:20

基調講演

「地域共生社会の実現に向けて」
～生きづらさを抱える人々とともに～

新潟医療福祉大学 副学長

丸田 秋男 氏

第3部

14:20～15:00 実践報告

新潟市ひきこもり相談支援センター
責任者

齋藤 勇太 氏

新潟市北区社会福祉協議会
コミュニティソーシャルワーカー

荒川 佳澄 氏

コーディネーター

新潟医療福祉大学
社会福祉学科長 教授

渡邊 敏文 氏

基調講演

「地域共生社会の実現に向けて」

～ 生きづらさを抱える人々とともに～

新潟医療福祉大学 副学長

丸田 秋男 氏

新潟県福祉保健部障害福祉課参事等を歴任後、平成13年4月に新潟医療福祉大学に転じ、平成22年4月より現職。

新潟県生涯学習審議会会長、新潟市社会福祉審議会委員長、新潟市地域福祉計画策定・推進委員会委員長を務め、地域共生社会の実現に貢献している。

実践報告

[報告者] 新潟市ひきこもり相談支援センター 責任者

齋藤 勇太 氏

学生時代にアルバイト20職。大学院修了後、県内外の教員採用試験に20連敗。県内外のフリースクール(計5年)、青年海外協力隊(エクアドル野球隊員2年)などの勤務を経て15年ぶりに新潟市帰省後、平成29年から現職。令和2年4月より責任者。新潟市市民活動支援センター理事、NPO法人プエルタ・ハル理事長などにも関わる。

[報告者] 新潟市北区社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

荒川 佳澄 氏

学生のころから積極的に福祉の現場へ足を伸ばし見識を広げる。大学卒業後、社会福祉法人での勤務を経て、平成20年に新潟市社会福祉協議会に入職。あんしんサポート(日常生活自立支援事業)に配属され、専門員として利用者一人ひとりに寄り添いながら個別支援を行う。令和元年より現職。CSWとして、常に住民の目線に立ち、様々な相談支援機関と協働し活動中。3児の母。

[コーディネーター] 新潟医療福祉大学 社会福祉学科長 教授

渡邊 敏文 氏

社会福祉法人新潟市有明福祉事業協会総務係長・指導係長、国際福祉医療カレッジ(現、国際こども・福祉カレッジ)社会福祉学科長を歴任後、平成18年4月より新潟医療福祉大学に転じ、平成31年4月より現職。新潟市在宅医療・介護連携推進協議会会長、新潟県介護福祉士養成施設協議会会長、日本地域政策学会常任理事を務め、暮らしやすい地域づくりに貢献している。

[お申し込み方法] TEL・FAX・メールにてお申し込みください。

新潟市北区社会福祉協議会

〒950-3323 新潟市北区東栄町1丁目1番14号 (北区役所1階)

TEL:025-386-2778 FAX:025-388-2914

メール: kita@syakyo-niigatacity.or.jp

締切: 11月19日(金)

主催 / 新潟市北区社会福祉協議会

共催 / 新潟市(北区健康福祉課) 新潟医療福祉大学



所属団体名		
代表者連絡先	氏名(ふりがな)	
	TEL	FAX
参加者氏名(ふりがな)		
[参加合計 名]		